

## メキシコ政治情勢（10月）

### 〈概要〉

#### 【内政】

- ・ 3日、メディーナ・モラ最高裁裁判官が辞任を表明した。
- ・ 7日、エル・フィナンシエロ紙において、ロペス・オブラドール大統領の支持率等に関する世論調査が発表された。
- ・ 8日、連邦下院において連邦緊縮財政法が可決・成立した。
- ・ 14日、ミチョアカン州において、犯罪組織により州警察官13名が殺害された。
- ・ 15日、ゲレロ州イグアラにおいて、国軍と犯罪組織に属するとみられるグループとの間で銃撃戦が発生し、同グループ14名及び軍人1名が死亡した。
- ・ 17日、シナロア州クリアカンにおいて、国家警備隊らが犯罪組織関係者拘束のためのオペレーションの実施を試みた際、同市内で犯罪組織による騒乱が発生した。

#### 【外交】

- ・ 7～11日、ベントゥーラ筆頭外務次官は、インド及びエチオピアを訪問した。
- ・ 14日、墨外務省は、在エクアドル墨大使館において、エクアドルの国会議員数名を保護している旨発表した。
- ・ 17日、ロペス・オブラドール大統領は、訪墨したディアスカネル・キューバ大統領と会談を行った。
- ・ 17日、ロペス・オブラドール大統領は、定例記者会見において、今後外遊を行う予定はない旨述べた。
- ・ 21日、ロペス・オブラドール大統領は、訪墨したアルバラード・コスタリカ大統領と会談を行った。
- ・ 22～23日、訪日したサンチェス・コルデロ内相は、墨政府代表として即位の礼公式行事に参列した。
- ・ 30日、ロペス・オブラドール大統領は、訪墨したコルティソ・パナマ大統領と会談を行った。

### 〈内政〉

#### 1 メディーナ・モラ最高裁裁判官の辞任

- (1) 3日、メディーナ・モラ最高裁裁判官が辞任を発表した。同裁判官は、2015年に連邦上院の承認を受け、最高裁裁判官に就任。任期満了まで11年を残した異例の辞任となった（最高裁裁判官の通常任期は15年）。メディーナ・モラ裁判官は、同職就任前までに連邦捜査局（CISEN）長官、公共治安大臣、連邦検察長官、駐英大使、駐米大使等の役職を歴任しており、国民行動党（PAN）や制度的革命党（P

R I) に近い人物とされていた。当地報道によると、今回の辞任は、連邦検察総局 (FGR) が同裁判官をマネーロンダリング及び不法蓄財疑惑で現在捜査しているためとみられている。

- (2) 8日、上院において、メディーナ・モラ裁判官の辞任が賛成多数で承認された。右承認を受け、大統領は、30日以内に新たな裁判官候補者リストを上院に送付しなければならない。

## 2 大統領支持率等に関する世論調査

10月7日付「エル・フィナンシエロ」紙は、ロペス・オブラドール大統領の支持率、同大統領の政策等に対する世論調査結果を発表した (同紙による独自調査。9月6～9日及び21～23日に実施。全国約820名に対する電話調査形式。誤差±3.4%)。

- (1) ロペス・オブラドール大統領支持率 (カッコ内は前回調査時 (8月30日発表))

支持する：68% (67%)

支持しない：30% (32%)

- (2) ロペス・オブラドール大統領の資質

(ア) 誠実さ

大変良い／良い：63% (58%)

悪い／大変悪い：17% (23%)

(イ) リーダーシップ

大変良い／良い：60% (53%)

悪い／大変悪い：19% (25%)

(ウ) 結果を出す能力

大変良い／良い：48% (43%)

悪い／大変悪い：24% (33%)

- (3) ロペス・オブラドール大統領への信頼度

とても信用している／ある程度信用している：59% (48%)

あまり信用していない／全く信用していない：40% (51%)

分からない：1% (1%)

- (4) 主要課題における現政権の対応

(ア) 公共治安

良い：45% (37%)

悪い：34% (44%)

(イ) 経済

良い：35% (29%)

悪い：39% (51%)

(ウ) 汚職

良い：31% (23%)

悪い：46% (64%)

(エ) 貧困

良い：33% (21%)

悪い：43% (65%)

(5) ロペス・オブラドール政権の施策：以下の施策についてどのように評価するか。

(ア) 国家警備隊

良い：67% (62%)

悪い：16% (22%)

(イ) 早朝記者会見

良い：59% (55%)

悪い：16% (21%)

### 3 連邦緊縮財政法の可決

(1) 8日、連邦下院通常会期において、連邦緊縮財政法案が賛成321票（与党国家再生運動（MORENA）、労働党（PT）、社会結集党（PES）、緑の党、市民運動（MC））、反対124票（国民行動党（PAN）、制度的革命党（PRI）、民主革命党（PRD））、棄権1票で可決、成立した。同法案は、官報掲載のため、同日中に行政府へと送られた。同法案は、本年4月の連邦下院通常会期において、賛成361票（MORENA、PAN、PRD、PT、PES、MC）、反対42票（PRI、緑の党）及び棄権2票（PT）で可決され、7月の連邦上院臨時会期において、賛成74票（MORENA、PT、PES、緑の党）、棄権29票（PAN、PRI、PRD、MC）で可決されていたが、上院において変更が加えられたため、再び下院に送付されていたもの。

(2) 同法は、現政権の推進する緊縮政策の一環であり、公務員の特権廃止、大統領の年金廃止、公的機関における緊縮等に加え、公務員が離職後少なくとも10年間は、公職に就いていた間に監督もしくは規制対象であった企業や、内部情報を得ていた企業に就職することを禁止するもの。本年4月の下院における法案可決後、ロペス・オブラドール大統領は、同法案の公布に先立ち、各省庁内で緊縮策を実施するよう通達する大統領覚書（5月3日付）を発出していた。

### 4 ミチョアカン州における州警察官殺害

14日、ミチョアカン州アギリージャ市において、犯罪組織「カルテル・ハリスコ・ヌエバ・ヘネラシオン（CJNG）」のメンバーによって13名の州警察官が殺害された。殺害された警察官の中には、地元自警団「ロス・ビアグラス」に所属していた者もいたとされる。アウレオレス・ミチョアカン州知事は、州警察官らがアギリージャ市における家庭

内暴力事案の被害者支援のために同市に向かっていたところ、CJNGによる待ち伏せ攻撃を受けたと発表した。

## 5 ゲレロ州における事案

15日、ゲレロ州イグアラ市テポチカにおいて、国軍と犯罪組織「ゲレロス・ウニドス」に所属するとみられるグループとの間で銃撃戦が発生し、同グループ14名及び軍人1名が死亡した。他方、事件が発生した経緯に不明な点があるとして、国家人権委員会が現在捜査を行っている。

## 6 シナロア州における事案

### (1) 概要

- (ア) 17日14時頃、シナロア州都クリアカン市において、国軍及び国家警備隊隊員約30名が、オビディオ・グスマン・ロペス（ホアキン・“エル・チャボ”・グスマンの息子、米国政府から引渡請求がなされている）の拘束を試みた。拘束を試みた直後より、クリアカン市内の少なくとも19カ所で道路封鎖、多数の車両が放火されるとともに、アグアルト刑務所から収監者51名が脱獄した。同日の抗争によって8名（市民1名、刑務所収監者1名、国家警備隊員1名、犯罪組織構成員5名）が死亡、20名が負傷した（10月30日時点）。また、市内で抗争が起こっていた間、クリアカン空港及び公共交通機関のサービスは停止された。
- (イ) 18日7時半、クリアカン市において、ドゥラソ治安・市民保護相、サンドバル国防相、オヘダ海軍相らの出席のもと、治安関係閣僚会議が実施された。会議後の記者会見において、同閣僚らは、今次事案はオビディオ・グスマンの拘束を試みたものであったが、予測していない暴力行為が発生したことにより、オビディオ・グスマンの解放を決定した旨発表した。また、ロペス・オブラドール大統領（注：同日、ロペス・オブラドール大統領はオアハカ州を訪問しており、治安関係閣僚会議には出席していない）は、多くの市民の生命を守るために同決定は必要な措置であった旨発言した。
- (ウ) 19日から20日にかけて、治安対策強化のため、国軍から417名が新たにクリアカン市に派遣。また、19日、ロペス・オブラドール大統領は、トランプ米大統領と電話会談を実施し、米国からメキシコへの武器密輸を阻止するための二国間協議を行うことを決定した。

### (2) 武器密輸に関する墨米二国間協力

- (ア) 21日、ドゥラソ治安・市民保護相、エブラル外相、サンドバル国防相、オヘダ海軍相、ランダウ駐墨米大使は、武器密輸に関する二国間サブグループ会合を開催し、墨米国境地域における武器密輸を「凍結」するための治安戦略について合意した。なお、米国からメキシコへの武器密輸を阻止するための二国間

協力については、本年9月に行われたエブラル外相とペンス米副大統領との会談後、二国間サブグループが設置され、10月初旬にメキシコ市において第1回会合が実施されていた。

- (イ) 治安・市民保護省において開催された今次会合において、墨当局は、国境地域の現在の状況、地上、港湾及び空港の税関における武器流入に対処するための情報共有及びコーディネーションのスキームについて報告を行った。
- (ウ) 米当局は、国境を越えて行われている武器密輸に毅然とした対処を行うため、米国政府が努力することを約束。また、共同行動計画に沿って対処し、インテリジェンスを通じ、努力の効果を最大化する用意があることを改めて表明した。
- (エ) 会合出席者らは、15日ごとに実務者会合を行う旨、官僚的な対応を廃し、両国の主権、責任に基づき（武器密輸に関して）「国境を閉鎖する」(sellar las fronteras) 旨決定した。

#### 〈外交〉

##### 1 ベントゥーラ筆頭外務次官のインド及びエチオピア訪問

- (1) 7～9日、ベントゥーラ筆頭外務次官は、インドを訪問し、ジャイシャンカル印外相、ゴカレ外務次官とそれぞれ会合を実施した。ジャイシャンカル外相との会談において、ベントゥーラ次官は、墨政権には二国間関係強化を促進していく意思がある旨表明。両者は、今次会合において、ルールに基づいた国際システムの強化、国連やG20等の国際フォーラムにおいてコンセンサスに達するための協力の重要性等について話し合った。また、ベントゥーラ次官は、シン東方担当次官と第5回墨印政策協議の共同議長を務めた。
- (2) 10～11日、ベントゥーラ次官は、エチオピアを訪問し、クオティ・アフリカ連合委員会副委員長との会談の他、第2回墨エチオピア政策協議を行った。

##### 2 在エクアドル墨大使館における国会議員の保護

- (1) 14日、墨外務省は、在エクアドル墨大使館において、エクアドル国会議員を保護している旨のプレスリリースを発出した。在エクアドル墨大使館において保護されたのは、ルイス・フェルナンド・モリーナ代理国会議員、ソレダー・ブエンディア国会議員、カルロス・ビテリ国会議員及びそれぞれの配偶者。12日には、ガブリエラ・リバデネイラ国会議員の保護も行われている。右は、同国において、3日より発生していた現政権に対するストライキ・抗議活動に関連し、コレア前大統領派国会議員らがメキシコに庇護を求めたものとみられる。
- (2) 墨外務省は、同プレスリリースにおいて、全ての人の人権の尊重、保護及び促進へのコミットメント、内政不干渉の原則、エクアドルにおける情勢が民主的且つ平和的な対話による解決策を見いだすことができるよう望んでいる旨表明した。

### 3 各国要人訪問

#### (1) ディアスカネル・キューバ大統領の訪墨

(ア) 17日、ロペス・オブラドール大統領は、メキシコを公式訪問したディアスカネル大統領と国立宮殿において会談を行った。会談後、ロペス・オブラドール大統領は、自身のSNSにディアスカネル大統領と非常に良い会談を持った旨及び両国は大変難しい局面においても互いに尊敬し合う真の友人である旨のメッセージを投稿した。

(イ) また、同日、会談前に行われた定例記者会見において、ロペス・オブラドール大統領は、墨政府は全ての国の政府及び国民と良好な関係を築いており、キューバも例外ではないと述べるとともに、ディアスカネル大統領の今次訪墨は、様々な分野での開発協力等、キューバとの緊密な関係を強化するための重要な機会となるであろうと述べた。

#### (2) アルバラード・コスタリカ大統領の訪墨

(ア) 21日、ロペス・オブラドール大統領は、国立宮殿において、メキシコを公式訪問したアルバラード・コスタリカ大統領と会談を行った。会談後、ロペス・オブラドール大統領は、自身のSNSアカウントに、「コスタリカとメキシコには多くの共通点があるが、本日のアルバラード大統領との会談においてそれら共通点を再認識した」とのメッセージを投稿した。

(イ) 同会談には、墨側から、エブラル外相、フラウスト文化相、マルケス経済相、レジェス・ラテンアメリカ・カリブ担当外務次官、デ・ラ・モラ経済相通商担当次官他、コスタリカ側から、ベントゥーラ外相、ドウラン文化青年相他が出席した。

#### (3) コルティソ・パナマ大統領の訪墨

(ア) 30日、ロペス・オブラドール大統領は、国立宮殿において、訪墨中のコルティソ・パナマ大統領と会談を行った。会談終了後、ロペス・オブラドール大統領は自身のSNSにおいて、「我々は、会談で扱われた議題について合意した。また、パナマ運河を取り戻し、右をもってパナマに主権を取り戻すという偉業を成し遂げたオマール・トリホス元パナマ大統領についても語り合った。」と投稿した。

(イ) 同会談には、墨側からエブラル外相、マルケス経済相、レジェス・ラテンアメリカ・カリブ担当外務次官、ロペス＝ガテル保健省次官、ガルドゥーニョ移民庁長官、カリージョ AMEXCID 長官他が出席。パナマ側からは、フェレル外相、ミロネス治安相、マルティネス通商産業相、トゥルネル保健相他が出席した。

#### (4) 自身の外遊に関するロペス・オブラドール大統領発言

17日の定例記者会見において、「ロ」大統領は、ディアスカネル・キューバ大統領訪問に関する記者からの質問に答える形で、自身は外遊を行わない決断を下した、もし他国から首脳らの訪問がある場合は歓迎する (Yo tome la decision de

no salir del pais. pero todos los que solicitan, piden venir a Mexico y entrevistarse con nosotros son bien recibidos)旨発言した。

#### 4 サンチェス＝コルデロ内相の即位の礼への参列

22～23日、サンチェス＝コルデロ内相は、墨政府代表として訪日し、22日に行われた即位礼正殿の儀、饗宴の儀、23日に行われた総理夫妻主催の夕食会に出席した。